

使用例

熱傷



肘部
熱性固体による浅達性Ⅱ度熱傷創※1

- 受傷2日目に3号を1枚貼付。
- 肘部にも良く密着している。

外傷



後肘部の挫創※2

- 3号を1枚貼付。
- 滲出液はしっかり吸水されている。

【警告】

次の場合は慎重に使用すること。
1) 明らかな臨床的創感染を有する患者。[感染を悪化させるおそれがある。臨床的創感染を有する患者であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合には、局所の観察を十分に行い、慎重に使用すること。]

【禁忌・禁止】

1. 使用方法
 - 1) 再使用禁止。
2. 適用対象
 - 1) スルファジアジン銀又は、サルファ剤に対し過敏症の既往歴がある患者
 - 2) ゼラチンに対して過敏症の既往歴がある患者

【使用目的又は効果】

真皮までの創傷に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。

【保険適用】

特定保険医療材料：皮膚欠損用創傷被覆材
適用：真皮に至る創傷用
適用期間：2週間を標準とし、特に必要と認められる場合については3週間を限度とする。

【使用上の注意】

1. 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
 - 1) サルファ剤投与による不具合・有害事象の発生が疑われる患者には慎重に使用してください。
 - 2) 妊婦・授乳婦、7歳未満の小児への適用は安全性・有効性が確立されていないので慎重に使用してください。
2. 重要な基本的注意
 - 1) 本品の貼付により感作、アレルギーその他皮膚障害と思われる症状が現れた時は使用を中止し、適切な治療を行ってください。
 - 2) 本品の使用中に、創に本品が原因と推察される臨床的感染が起きた場合には、使用を中止し、適切な治療を行ってください。又、患者の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても、創に感染症状が現れることがあります。感染の兆候に十分注意し、臨床的感染が認められた場合には、原則として使用を中止し、適切な治療を行ってください。
 - 3) 創周辺部に、粘着剤による発赤、滲出液の貯留による浸軟を起こす場合があります。又、皮膚剥離を起こす場合もあるので、本品の使用時には十分な観察を行い、本品の関与が否定できない異常が見られた場合には直ちに使用を中止し、適切な治療を行ってください。
 - 4) 壊死組織が多く存在する創傷ではデブリードマンを行ってから使用してください。
 - 5) 使用中は観察を十分に行ってください。又、原則として30日を超える連続使用は行わないでください。
 - 6) 創から出血が見られる場合には、必ず止血処置を行ってください。

【保管方法】

高温、多湿、直射日光を避け室温に保管してください。

*ご使用の際は、必ず添付文書をお読みください。



バイオヘッシブ®Ag-ライト Biohesive Ag-Lite

種類	商品コードNo.	規格	1函入数
1号	19611	60mm×60mm	10枚
3号	19612	100mm×100mm	10枚

Y線滅菌済
TERILE

▶ 保険適用

高度管理医療機器 / 医療機器承認番号:22700BZX00377000

ALCARE

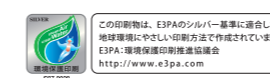
アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.co.jp

●本カタログの内容は2024年12月現在のものです。
●商品の仕様、デザインおよび価格は、改良や経済状況の変動などにより予告なく変更することがあります。
●本カタログに掲載の写真は、実際の色とは多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863** 土・日・祝日を除く
午前9:00～午後5:00



この印刷物は、JPAのメンバー企業に委託した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
JPA:環境保護印刷推進協議会
http://www.jpa.com

ALCARE

つなぐ手あて、ひらくケア。

バイオヘッシブ® Ag-ライト Biohesive Ag-Lite



衛生環境を維持し、
治癒を促進する
抗菌性ハイドロコロイドドレッシング

抗菌性ハイドロコロイド創傷被覆材
Antibacterial Hydrocolloid Wound Dressing

※1 鈴木 敏彦,他:「スルファジアジン銀含有ハイドロコロイド型創傷被覆材の開発—多施設臨床試験評価—」,薬理と治療, 2000: 28(7): 621-633

※2 写真提供: 北信総合病院 形成外科

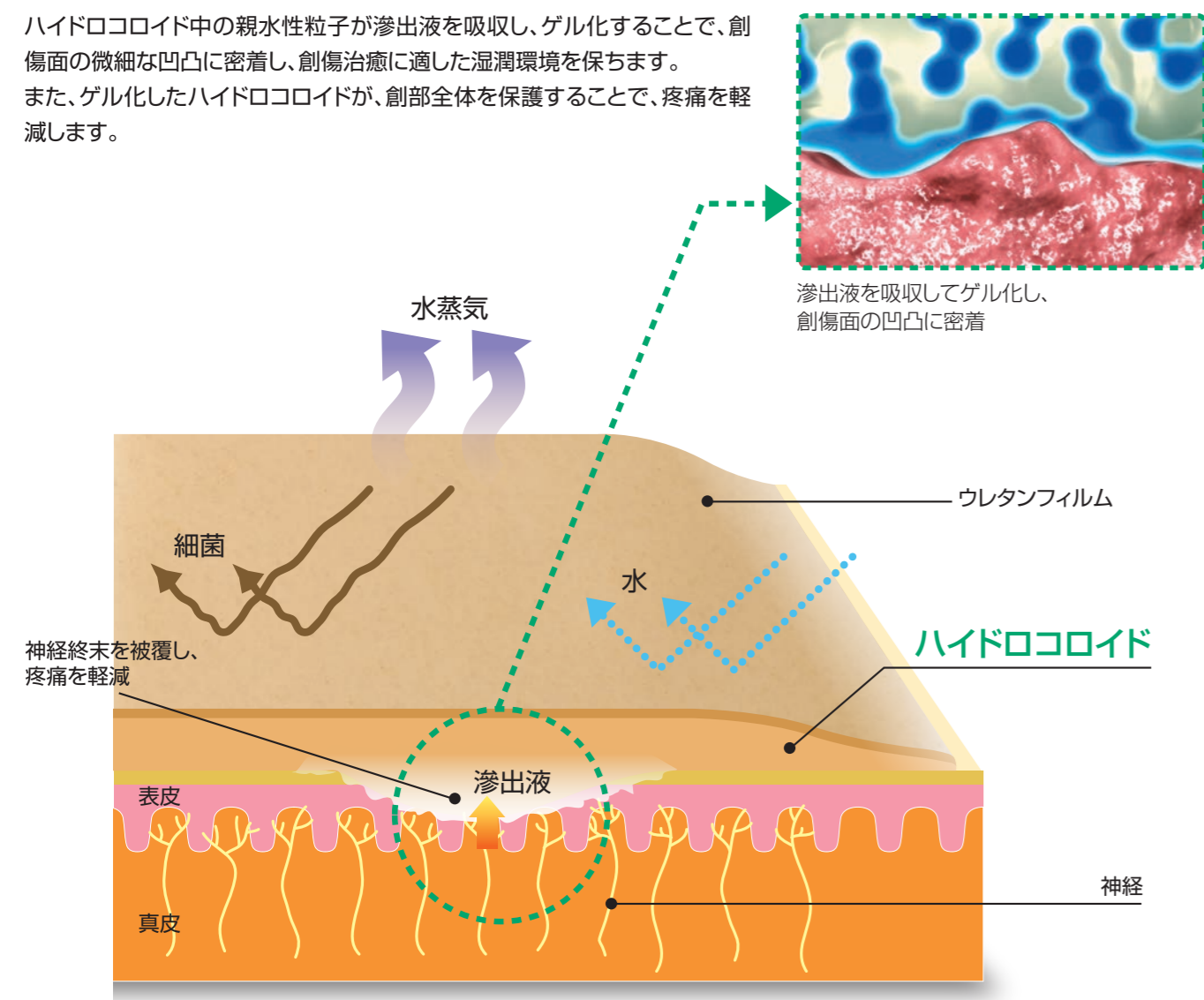
スムーズな創傷治癒に貢献する 《バイオヘッシブ®Ag・ライト》

《バイオヘッシブAg・ライト》はハイドロコロイドにスルファジアジン銀を加えた抗菌性ハイドロコロイドドレッシングです。

湿潤環境を保ち、治癒の促進を図るとともに、衛生環境を維持し、浅い創のスムーズな治癒に貢献します。

創傷治癒に適した湿潤環境を提供

ハイドロコロイド中の親水性粒子が滲出液を吸収し、ゲル化することで、創傷面の微細な凹凸に密着し、創傷治癒に適した湿潤環境を保ちます。また、ゲル化したハイドロコロイドが、創部全体を保護することで、疼痛を軽減します。

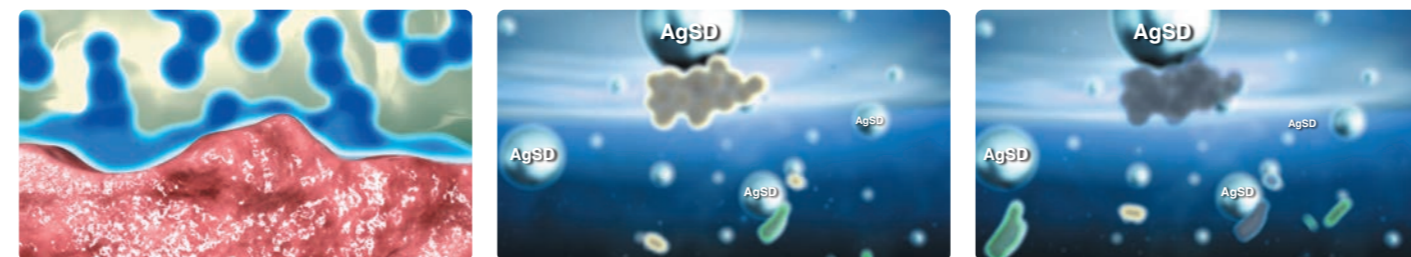


滲出液を吸収してゲル化し、創傷面の凹凸に密着

創傷面の衛生環境を維持

ハイドロコロイドに抗菌性能をもつスルファジアジン銀を配合。創傷面やゲル内に存在する菌の増殖リスクを抑えることで衛生環境を維持します。

《バイオヘッシブAg・ライト》の抗菌メカニズム

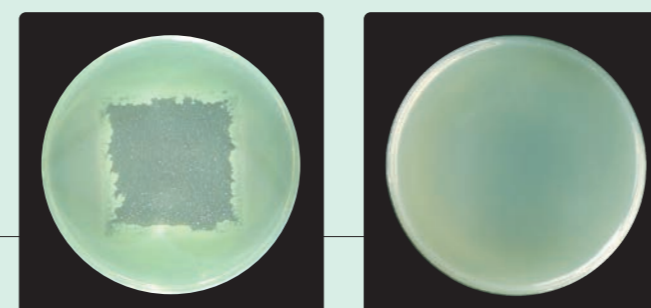


- 1 《バイオヘッシブAg・ライト》が創傷面の滲出液を吸収し、ゲル化します。
- 2 スルファジアジン銀がゲル内および創傷面の滲出液内に存在する菌と接触します。
- 3 スルファジアジン銀に接触した菌は時間とともに死滅します。

感染起因菌の増殖リスクを低減

《バイオヘッシブAg・ライト》は感染起因菌(黄色ブドウ球菌、緑膿菌、大腸菌等)に対し抗菌効果が確認されています。

※抗菌試験の条件
緑膿菌を10⁷CFU/cm² になるように普通寒天培地上に播種し、45mm×45mmの《バイオヘッシブAg・ライト》を配した。(写真左) コントロールは菌を播種した普通寒天培地とした。(写真右) 24時間培養し、《バイオヘッシブAg・ライト》を取り除き、更に24時間培養した。

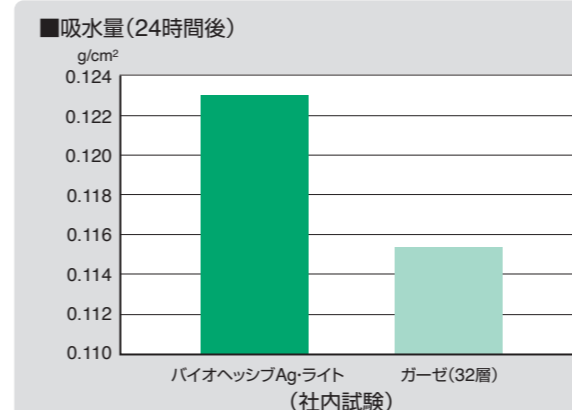


《バイオヘッシブAg・ライト》を置いた部分では、除去後24時間経過しても緑膿菌の増殖が見られません。

《バイオヘッシブAg・ライト》を置かなかった場合、全体に緑膿菌の増殖が見られます。

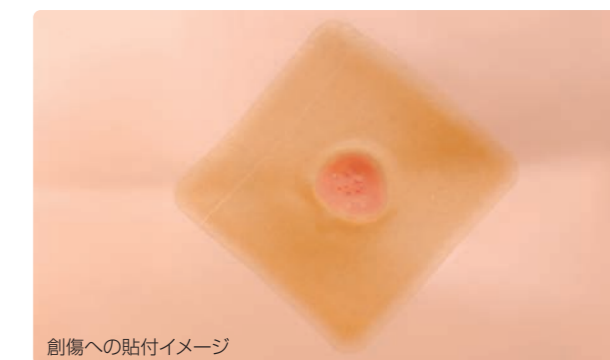
滲出液をしっかり吸収し、交換の手間を軽減

吸収性と溶け崩れにくさを両立した設計で、滲出液をしっかり吸収し、交換時には創傷面にゲルが残りにくいいため、交換の手間を軽減します。



貼付したまま創傷の観察が可能

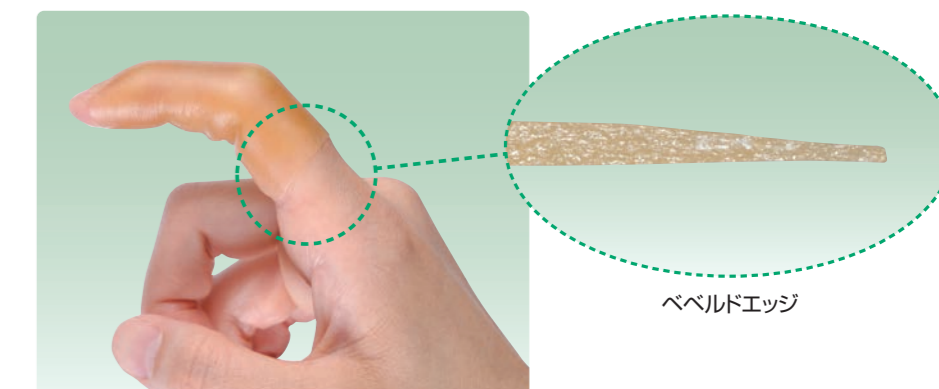
透明性が高く、貼付した状態で創傷の観察ができます。創傷の変化を容易に確認することができ、異常の早期発見に貢献します。



創傷への貼付イメージ

しっかり密着し、汚染リスクを低減

伸びがよく、指先などの細かい部分にもしっかり密着します。また、辺縁部周囲が薄くなっているベベルドエッジ構造で、外部からの汚染や水の浸入リスクを低減します。



ベベルドエッジ

使用手順

1



創および創周囲の健常皮膚を生理食塩水等で洗浄してください。

4



創が中央に来るように、創によく密着させて貼付してください。

2



創周囲の健常皮膚の水分を拭きとり、十分乾燥させてください。

交換



周囲皮膚を軽く押さえながら、四隅からゆっくりと注意深く剥がしてください。

3



粘着面に触れないように注意し、剥離紙を剥がしてください。